

柏市上下水道事業ビジョン実現方策の検討（その2）

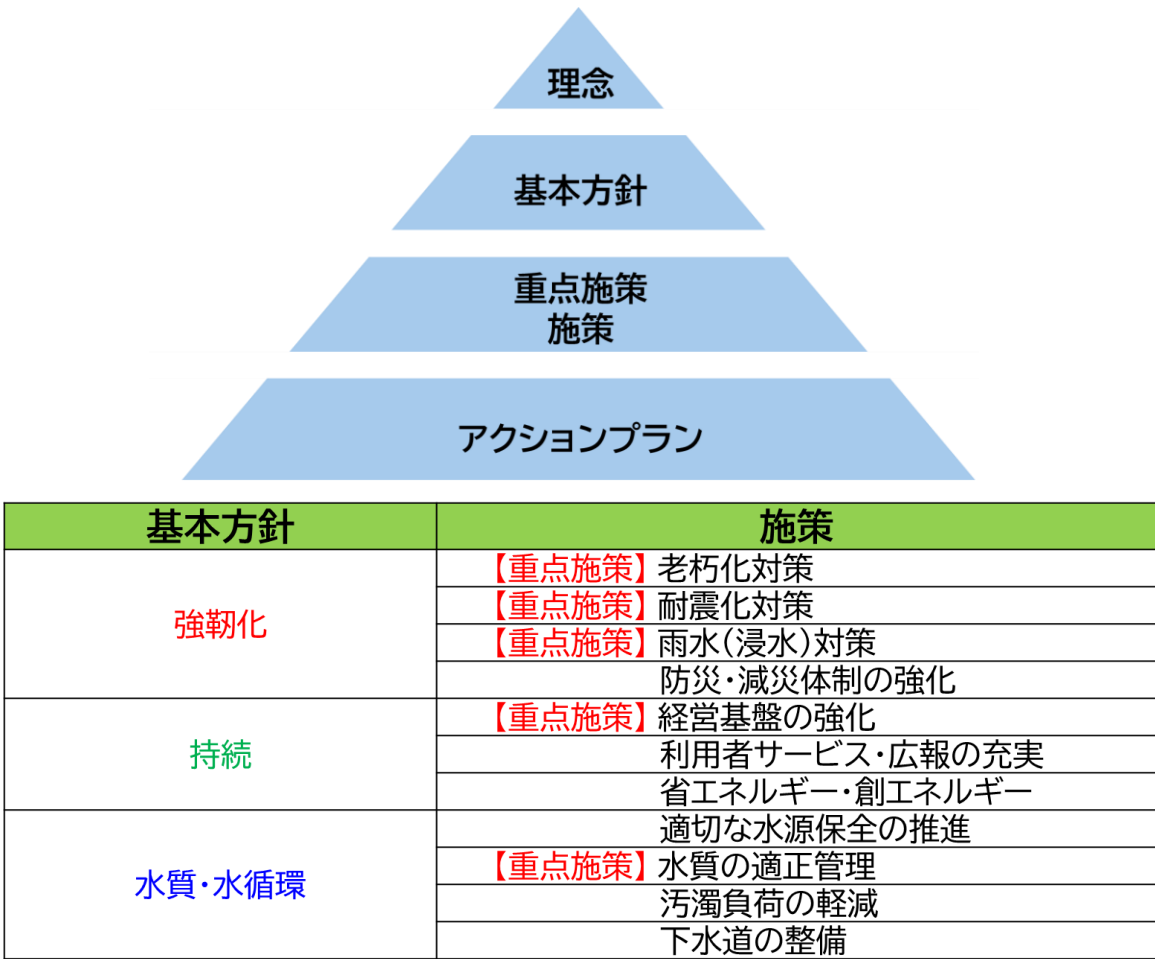
前回審議会の振り返り

1. 前回審議会でのご意見について

理念、基本方針、施策及びその指標についてご意見をいただいた。
主なご意見は以下のとおりである。

- ① 経営基盤強化の「広域化の導入による業務効率化の検討」は、誤解を招くような表現ではないか。
- ② 持続の中にある省エネ・創エネは本来、持続可能な事業体を目指してコスト削減を目的とした施策ではないのか。
- ③ 持続について、改築を行うことにより、長寿命化につながる効果もあることがわかるような書き方にしてほしい。
- ④ 水1m³の配水に必要な二酸化炭素排出量や電力消費量などの指標を作成すると良いのではないか。

図表-1 柏市上下水道ビジョンの理念・基本方針・施策の関係と施策名称



2.施策と目的の修正について

施策と目的について、前回審議会ご意見を踏まえ、以下のとおり修正した。

施策名	修正内容	意見
強靱化／老朽化対策	老朽化対策により更新を行うことで更新後の施設の耐用年数は長くなることから、 <u>改築・更新の実施による水道施設・下水道施設の長寿命化</u> を追加	意見③
持続／経営基盤の強化	誤解を招く言葉であったことから、広域化の導入による業務効率化の検討 ⇒ <u>広域化への取組による業務効率化の検討</u> へ修正	意見①
持続／省エネルギー・創エネルギーの推進	省エネルギーに貢献する取組として、コスト削減に貢献する取組である <u>高効率機器の導入によるコスト削減</u> を追加	意見②

図表-2 施策と目的(第2回審議会資料)

基本方針	施策	目的
強靱化	老朽化対策 ★	水道施設、下水道施設の適切な管理
	耐震化対策 ★	震災時でも機能する上下水道施設の構築、強靱な水道施設、下水道施設の構築
	雨水(浸水)対策 ★	気候変動、局地的豪雨による浸水被害の軽減
	防災・減災体制の強化	非常時における迅速な対応体制の構築、災害時情報周知体制の維持
持続	経営基盤の強化 ★	業務の効率化による経営基盤の強化、広域化の導入による業務効率化の検討、健全な財政運営の継続
	利用者サービス・広報の充実	利用者との良好なコミュニケーション
	省エネルギー・創エネルギーの推進	環境に配慮した事業運営
水質・水循環	適切な水源保全の推進	地下水源の水質・水量の維持
	水質の適正管理 ★	安全な水道水の供給
	合流区域の解消	合流式下水道の改善による下水道処理施設の負担軽減

重点施策は ★印 を付している。

図表-3 施策と目的(修正案)

基本方針	施策	目的
強靱化	老朽化対策 ★	<u>改築・更新の実施による水道施設・下水道施設の長寿命化</u> 、水道施設・下水道施設の適切な管理
	耐震化対策 ★	震災時でも機能する上下水道施設の構築、強靱な水道施設、下水道施設の構築
	雨水(浸水)対策 ★	気候変動、局地的豪雨による浸水被害の軽減
	防災・減災体制の強化	非常時における迅速な対応体制の構築、災害時情報周知体制の維持
持続	経営基盤の強化 ★	業務の効率化による経営基盤の強化、 <u>広域化への取組による業務効率化の検討</u> 、健全な財政運営の継続
	利用者サービス・広報の充実	利用者との良好なコミュニケーション
	省エネルギー・創エネルギーの推進	環境に配慮した事業運営、 <u>高効率機器の導入によるコスト削減</u>
水質・水循環	適切な水源保全の推進	地下水源の水質・水量の維持
	水質の適正管理 ★	安全な水道水の供給
	合流区域の解消	合流式下水道の改善による下水道処理施設の負担軽減

重点施策は ★印 を付している。

修正箇所：網掛

3.施策ごとのアクションプランについて

施策ごとのアクションプランについては、前回審議会から修正はない。

図表-4 施策ごとのアクションプラン／強靱化（第2回審議会資料）

基本方針	施策	区分	アクションプラン(重要なものに下線)
強靱化	老朽化対策★	水道	<u>水源地等の老朽設備の補修・更新、</u> <u>管路更新計画に基づく老朽管更新(耐震化)、</u> <u>基幹管路の更新(耐震化)【W-PPPによりさらに推進】、</u> <u>漏水調査の実施とそれに基づく修繕の実施</u>
		下水道	<u>管さよ、施設の改修・維持管理【W-PPPにより実施】</u>
	耐震化対策★	水道	<u>水源地等の施設・設備の耐震化、</u> <u>管路更新計画に基づく老朽管更新(耐震化)(再掲)、</u> <u>基幹管路の更新(耐震化)【W-PPPによりさらに推進】(再掲)</u> <u>上下水道耐震化計画に基づく急所施設及び病院等の重要施設に接続する管路等の耐震化</u>
		下水道	<u>重要な幹線等の計画的な耐震化、</u> <u>篠籠田貯留場・柏ビレジ排水ポンプ場の耐震化</u> <u>上下水道耐震化計画に基づく病院等の重要施設に接続する管路等の耐震化</u>
	雨水(浸水)対策★	下水道	<u>雨水管理総合計画の策定、浸水対策の継続、雨水管理総合計画に基づく雨水管や貯留施設等の整備の実施</u>
	防災・減災体制の強化	一体	BCPの定期的な見直し、災害対応訓練の実施、備蓄資機材の維持、応急給水訓練の実施と職員研修の継続、応急給水関連設備の維持管理と点検
		下水道	内水ハザードマップの更新、管路内水位観測システムの維持

基本方針	施策	区分	アクションプラン(重要なものに下線)
持続	経営基盤の強化★	一体	<u>官民連携の拡大【W-PPPの導入と拡大検討】、DX推進・新技術の活用、研修内容の精査と技術力の確保、適正な料金改定の検討、</u> <u>財政計画の定期的な見直し、経営状況の定期的な公表</u>
		水道	広域化勉強会への参加継続、広域連携の導入検討
	利用者サービス・広報の充実	一体	広報活動の効果検証、効果的な広報活動の調査・研究、利用者の要望整理、支払方法の拡充
	省エネルギー・創エネルギーの推進	一体	計画的なエコカーの配備、充電ポートの配備(配備数と配備位置の検討)
		水道	設備更新時における省エネ機器導入、建設副産物の再資源化と再資源資材の活用
		下水道	設備更新時における省エネ機器導入、下水道熱利用の事例調査・研究、建設副産物の再資源化と再資源資材の活用

基本方針	施策	区分	アクションプラン(重要なものに下線)
水質・水循環	適切な水源保全の推進	水道	水源井戸の維持管理(定期的な検査、異常検知時の修繕等)、水源井戸の適正揚水量を把握し範囲内で取水を実施
	水質の適正管理★	水道	<u>水安全計画(水質の監視体制、対応方針、水質検査の項目及び実施体制等)は毎年点検・評価を実施</u> <u>配水管の洗浄計画に基づく作業実施【W-PPPの拡大検討】、老朽管改良工事にあわせた鉛製給水管の解消、小規模貯水槽水道の適正管理に向けた注意喚起の継続</u>
	合流区域の解消	下水道	地区毎に分流化整備の方針(汚水整備、雨水整備)を検討し分流化整備事業を推進、合流区域解消による流域下水道の負担軽減

重点施策は ★印 を付している。

4.施策の指標について

施策の指標について、前回審議会ご意見を踏まえ検討しました。現在採用している指標は電力消費量を測る指標ですが、水道事業ガイドラインの業務指標(PI)であり、他事業体との比較が可能であることから原案どおりとする方針である。

施策名	修正内容	意見
持続／省エネルギー・創エネルギーの推進	【変更なし】二酸化炭素排出量を記載することもできますが、各地域で排出原単位が異なる、年により原単位が異なる点が懸念事項です。電力消費量は他事業体と比較は可能な指標になります	意見④

図表-5 施策の指標／持続(第2回審議会資料)

基本方針	施策	具体的な取組	指標
持続	利用者サービス・広報の充実(一体)	広報活動	LV4 (継続して実施)
		支払方法の拡充	LV3 支払方法別割合、収納率
	省エネルギー・創エネルギーの推進(一体)	省エネルギーの導入と創エネルギーの活用	LV2 エコカーの導入比率、導入台数
	省エネルギー・創エネルギーの推進(水道)	省エネ機器導入	LV2 配水量1㎡当たりの電力消費量 LV3 省エネ機器導入数
		建設副産物の再資源化	LV4 (継続して実施)
	省エネルギー・創エネルギーの推進(下水道)	省エネ機器導入	LV3 省エネ機器導入数
		下水道熱利用の事例調査・研究	LV4 (継続して実施)
		建設副産物の再資源化	LV4 (継続して実施)